

市P連 青パト講習会兼青パト担当者研修会

令和7年6月5日(木)、11日(水)



青パト活動で犯罪未然に防ごう

地域を見守る青色防犯パトロールの講習会が6月5日と11日、富士宮市役所で行われました。富士宮市学校パトロールボランティア連絡協議会を兼ねる市PTA連絡協議会の主催で、市内小中学校から新規受講者、更新で合わせて105名が参加。富士宮警察署生活安全課係長の野呂健介さんから青パト活動の心得を学びました。

野呂さんは地域の犯罪発生状況を事前に把握し、事件・事故の通報が多発している場所や時間帯に巡回することで高い効果があることを説明。「防犯活動が盛んな地域と印象付けることが犯罪を未然に防ぐ。目立った活動をしてほしい」と強調しました。

夜間徘徊している児童生徒への声掛けや不審者を発見した際の対応、事故危険箇所を見つける意義なども伝えられ、参加者は熱心にメモを取ったり頷いたりしながら耳を傾けていました。

青パト防犯活動は平成16年に運用が開始され、中学校区ごとのグループに分かれて年間を通じた活動を行っています。令和6年度は延べ236回の巡回を行いました。

市P連の荻真教会長は「市内の様々な団体がパトロールに取り組んでくださっている。保護者も率先して協力することで、子どもたちの安心安全のため、犯罪抑止力を高めていきたい」と話していました。